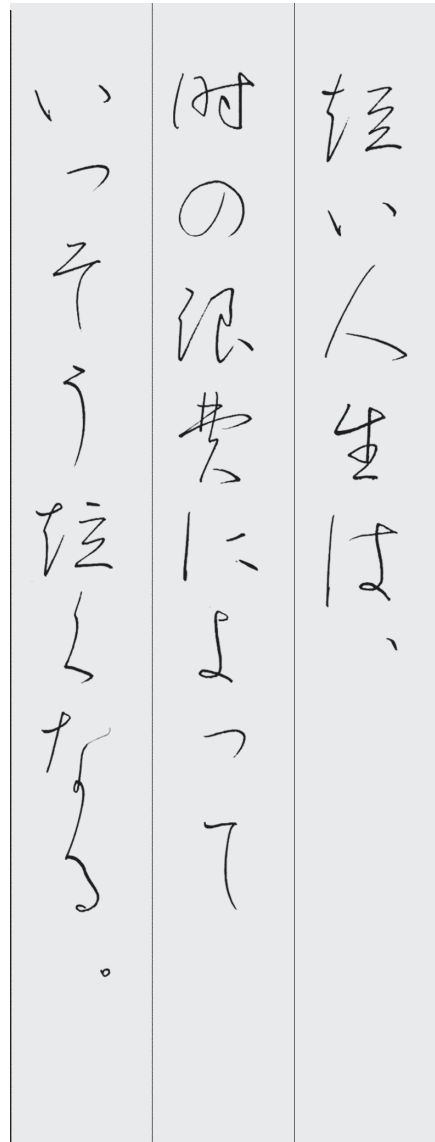


憲照先生の手本ア・ラ・カルト(30)
(à la carte)

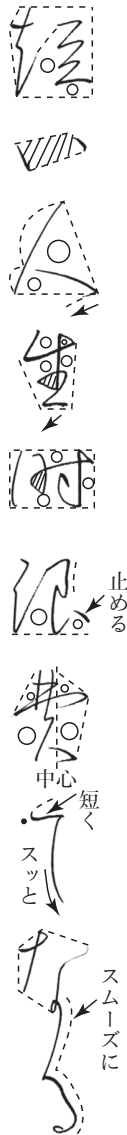
締切り 六月二十二日(必着)

昭和48年5月



つけペン・墨汁使用

〔解説〕



◎本会は、今年で創立六十八周年を迎えます。まだまだ世の中は、新型コロナ禍の影響で、世界中が不安の中にいます。

しかしながら諸先生、会員の皆様の「書」への意欲は消えることなく、時間と共に基本的活動は戻りつつあります。

◎今年の短期特別課題は、昨年同様『原点回帰』をテーマとして、本会の創設者奥村憲照先生の手本を改めて学び直すことにいたします。

お手本は、硬筆、毛筆、一般部、教育部なども合わせれば相当数あります。同一課題を楷・行・草の順で繰り返し、掲載していく予定です。

◎多くの方がかつて憧れた憲照先生の書と向き合うことで、書への情熱を今一度燃え上がらせていただければと思います。

◎創立七〇周年に向けて、力強く歩んで行きましょう。

★短い人生は…(書体Ⅱ草書)

サミュエル・ジョンソン

(二七〇九〜二七八四)

イギリスの詩人・批評家

時間を無駄遣いすることは、人生において使える時間を短くすることである。それは結局、人生を短くすることに等しい。

どんな忙しい時でも、目的意識を持って、後悔するような時間の使い方をしないようにしたいものです。

〔作品の出し方〕

▼今回も硬筆部だけに限ります。全員本会段位用紙に書いて下さい。硬筆を習っていない方も、出品は可能です。ご自由にどうぞ。

▼用具は自由ですが、線美を追求のためには、つけペン・墨汁をお薦めします。

▼出品制限の対象とはなりません。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績を、作品余白にお書き下さい。

※不明な点は無記入でも結構です。

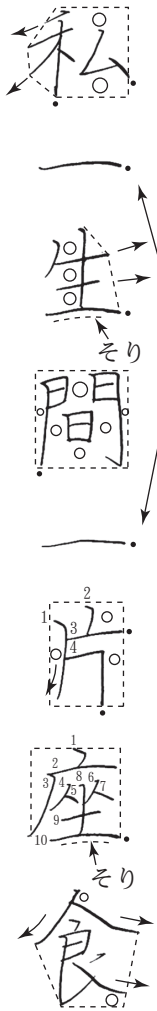
▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

▼月例作品と同封する場合は、必ず別のビニール袋に分け、表に「月例」「短期特別」と明記して混同しない様にお願いします。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



同字変化

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

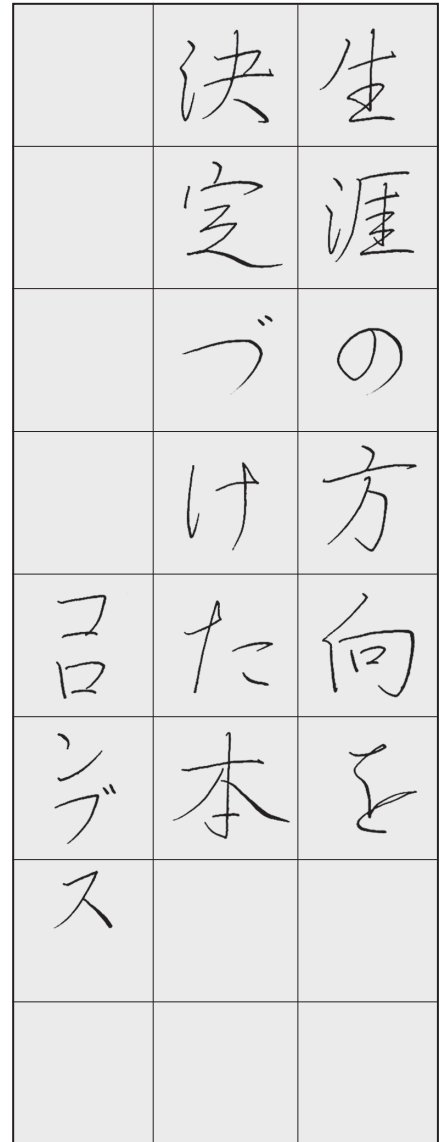


新井龍峰書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



古田瑞苑書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ◆7月課題予告(行書)
身を捨ててこそ
浮かぶ瀬もあれ
千葉周作
- ▼教範・書範Ⅱ楷書
- ▼師範Ⅱ行草または草書

★生涯の……(書体Ⅱ行書)
偉人の伝記や成功者などの回想録などを読むと、その人の生涯は本で決まった様なものだとかならずかせられることがよくあります。
アメリカ大陸の発見者として名高いイタリヤのコロンブスもその様でした。彼の生まれた所は地中海のジェノバ。海外にあらがれて「東洋の国々へ行きたい。」と思ったのが一冊の本を読んだ時でした。その本とは日本を「黄金の島ジパング」と書いたマルコ・ポーロの「東方見聞録」でした。

◆7月課題予告(楷書)
三セントの
過ちを直す心
リンカーン

★私は……(書体Ⅱ楷書)
ノア・ウェブスター
米国人はウェブスターと言えば辞典の代名詞と考え、日本でも代表的な英語辞典のことと理解されています。彼自身の手で編集、出版したもので改訂を加えられつつ今も連綿として刊行されています。

二十年前かけ大きな辞典を出版する間アマースト大学の創立に力をつくし、暇のない生活をしていた晩年に彼は「私の成功は勤勉によって得たものだ。一生の間に……」と言ったそうです。努力なければ成功しないというわけです。

◆7月課題予告(楷書)
三セントの
過ちを直す心
リンカーン

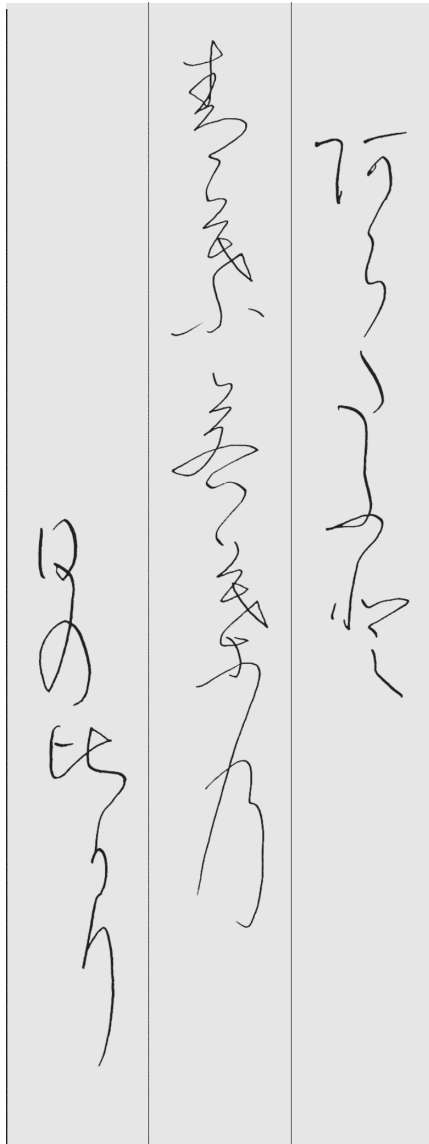
★私は……(書体Ⅱ楷書)
ノア・ウェブスター
米国人はウェブスターと言えば辞典の代名詞と考え、日本でも代表的な英語辞典のことと理解されています。彼自身の手で編集、出版したもので改訂を加えられつつ今も連綿として刊行されています。

二十年前かけ大きな辞典を出版する間アマースト大学の創立に力をつくし、暇のない生活をしていた晩年に彼は「私の成功は勤勉によって得たものだ。一生の間に……」と言ったそうです。努力なければ成功しないというわけです。

準初段から六段まで

新入から1級まで

阿^多 登^能
あらたふと青葉若葉の日の光^乃 比^可り



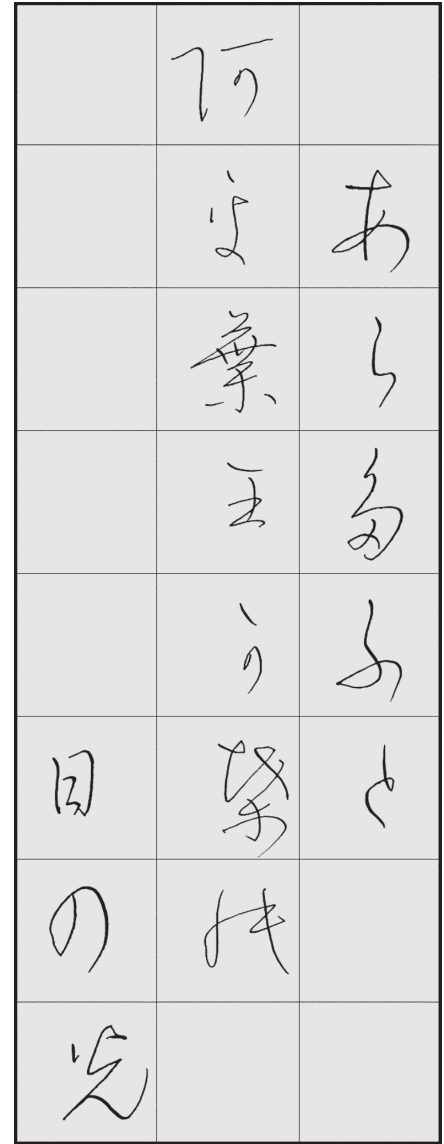
た なか き こう 書
田 中 貴 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

阿^多 乎^阿 王^可 能^乎
あらたふと青葉若葉の日の光

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



た なか き こう 書
田 中 貴 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

あらたふと青葉若葉の日の光^(とう)

(松尾芭蕉)

【句解】 ああ尊いことよ。青葉若葉の濃淡とりどりに織りなす初夏の緑に、さんさんと映発する日の光。それはこの日光山の霊域に鎮座する神霊の莊嚴さそのものである。

【鑑賞】 日光東照宮参詣の句。へあらたふと」とは、自然美と宗教性とが一体となった莊嚴世界への賛嘆を打ち出したもので、能の登場人物の口吻に通うものがあり、自身を能に登場する諸国一見の旅僧になぞらえ、旅に対する姿勢がそのような声調をとらせた。

【古筆参考】

阿^あ 多^た 乎^を 能^の 乃^の
阿阿阿阿阿
多々々々々
乎字安、平り
能能能能能
乃乃乃乃乃

【解説】二行目の「青葉若葉」の画数が多いため、一・三行目はなるべく画数の少ない字にしてみました。

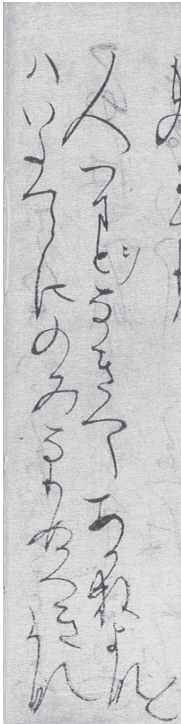
◆7月課題予告

切られたる夢はまことか蚤のあと

(榎本其角)

〔古筆参考〕

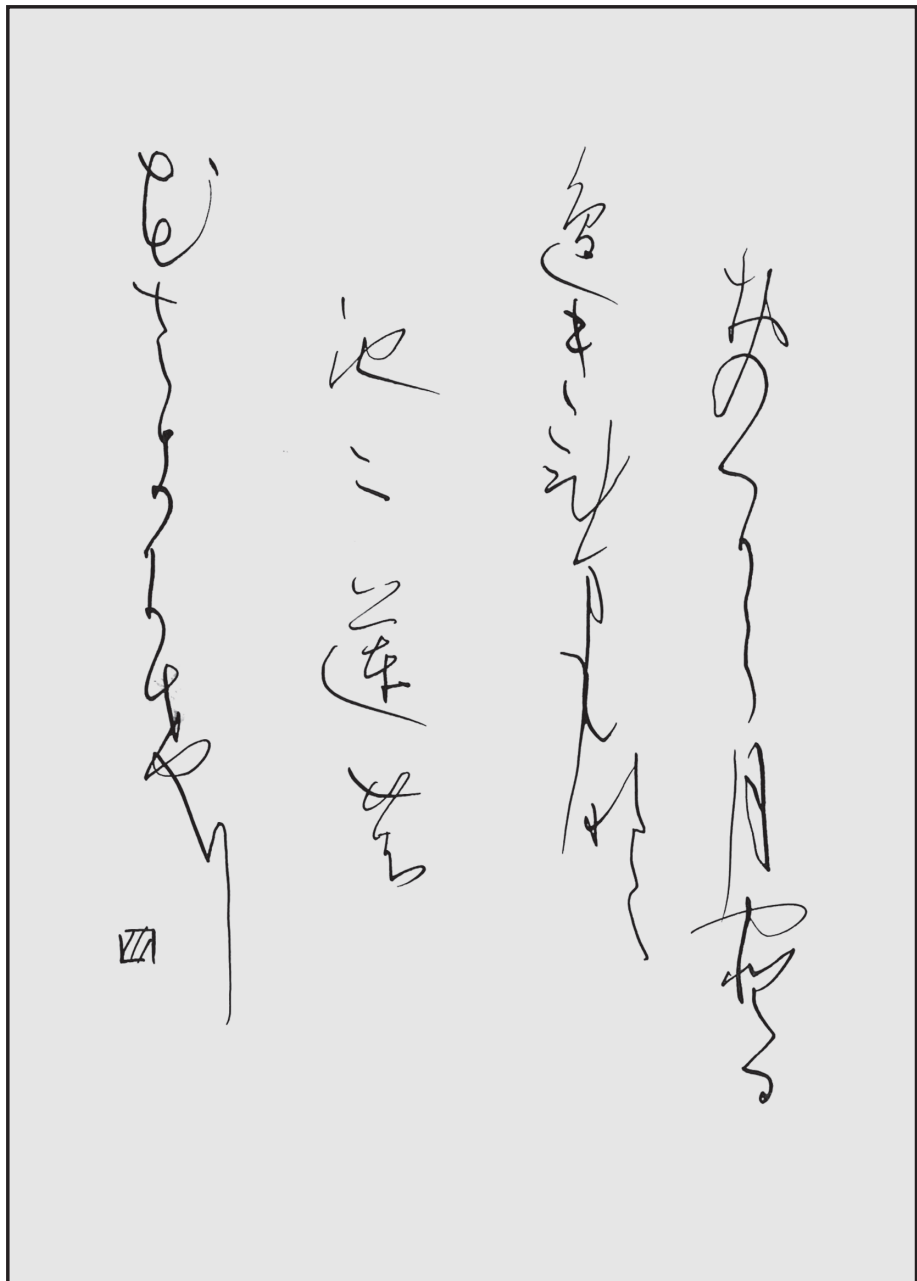
なかつかさしゅう
中務集



人つまとなきつくあかすよなく
はいたづらにのみなりぬべき
かな

締切り 六月二十二日(必着)

築瀬舟香書

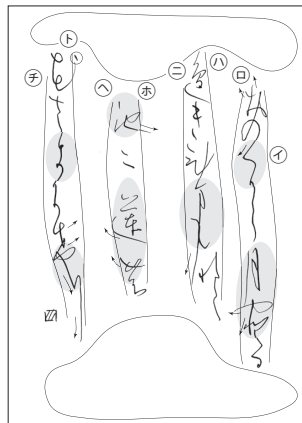


おのづから月宿るべきひまもなく
池に蓮の花咲きにけり

〔歌意〕自然に月の宿ることのできる
隙間もなく、蓮の花が池いっぱい
美しく咲いたことだよ。

〔出典〕新潮日本古典集成

〔解説〕



- ①と②、①と③、④と⑤、④と⑥、④と⑦
- ①と②、①と③、④と⑤、④と⑥、④と⑦
- ⑥と⑦、⑥と⑧、それぞれ呼応。
- 余白大切。
- の動き大切。
- ∨の方向大切。
- 面構成大切。

◆7月課題予告

月ならでさしいる影のなまままに
暮るるうれしき秋の山里

締切り 6月22日(必着)

紫陽花の美しさに見とれてい
うちに、うっとり梅雨も凌げ
そうですが、如何お過ごすか。
梅雨のせいで、引き籠もりがち
ですが、梅雨明けを心待ちにする
毎日、どうかご自愛のほどを。

紫陽花の美しさに見とれてい
うちに、うっとり梅雨も凌げ
そうですが、如何お過ごすか。
梅雨のせいで、引き籠もりがち
ですが、梅雨明けを心待ちにする
毎日、どうかご自愛のほどを。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題はがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

お 尾 ごう すい ごう 書
郷 翠 光

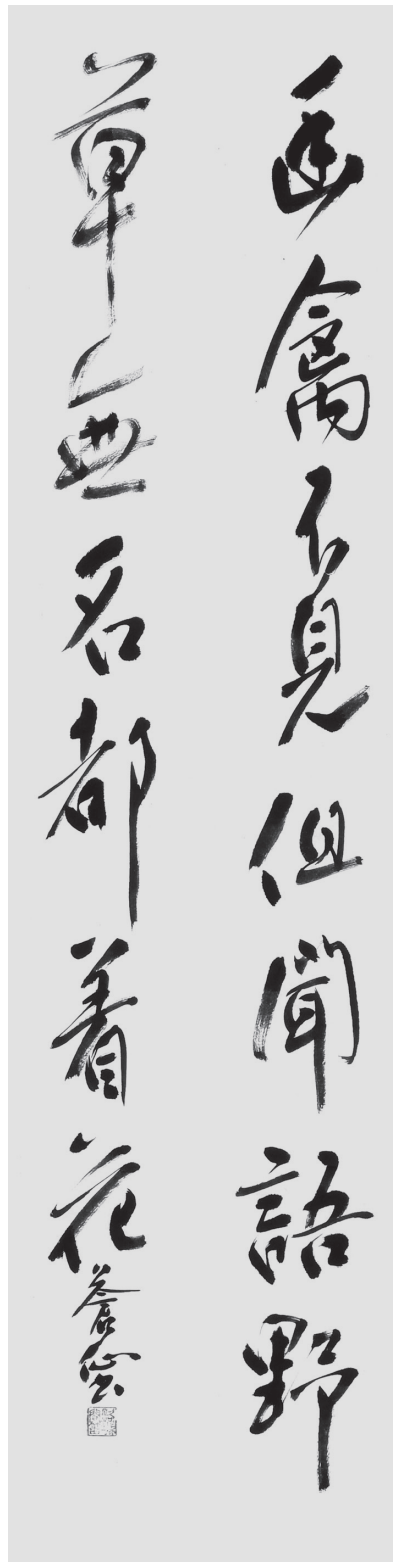
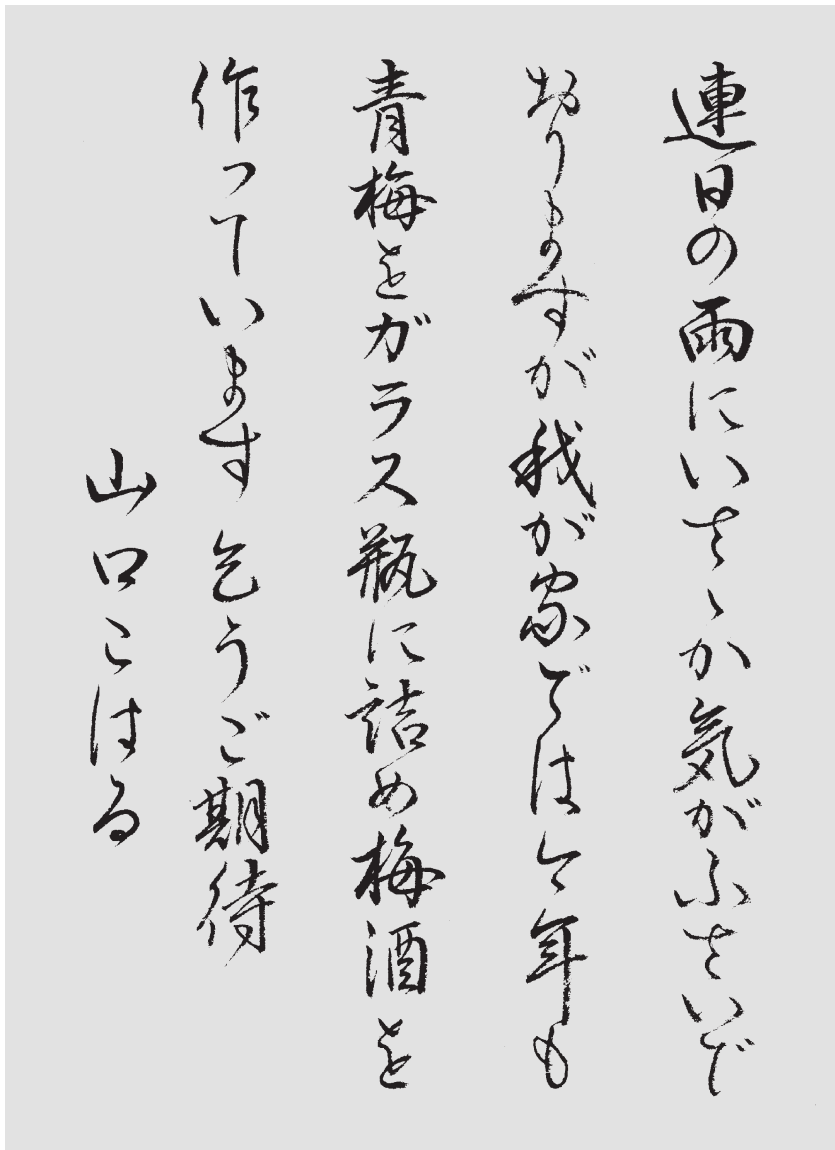
近代日本登山の父・ウェストンは、
世界に日本アルプスの名を広めた。

高知県南国市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



締切り 六月二十二日(必着) 半切(一三六cm×三五cm)

萩田蒼仙書

幽禽不見但聞語

野草無名都着花

半紙 (334mm × 240mm)

伊藤梅香書

※検定試験三段コースを兼ねる。

- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。

・印で墨つきしました。

(ご自分の氏名)

作っています 乞うご期待

青梅をガラス瓶に詰め梅酒を

作っています 乞うご期待

連日の雨にいさゝか気がふさいで

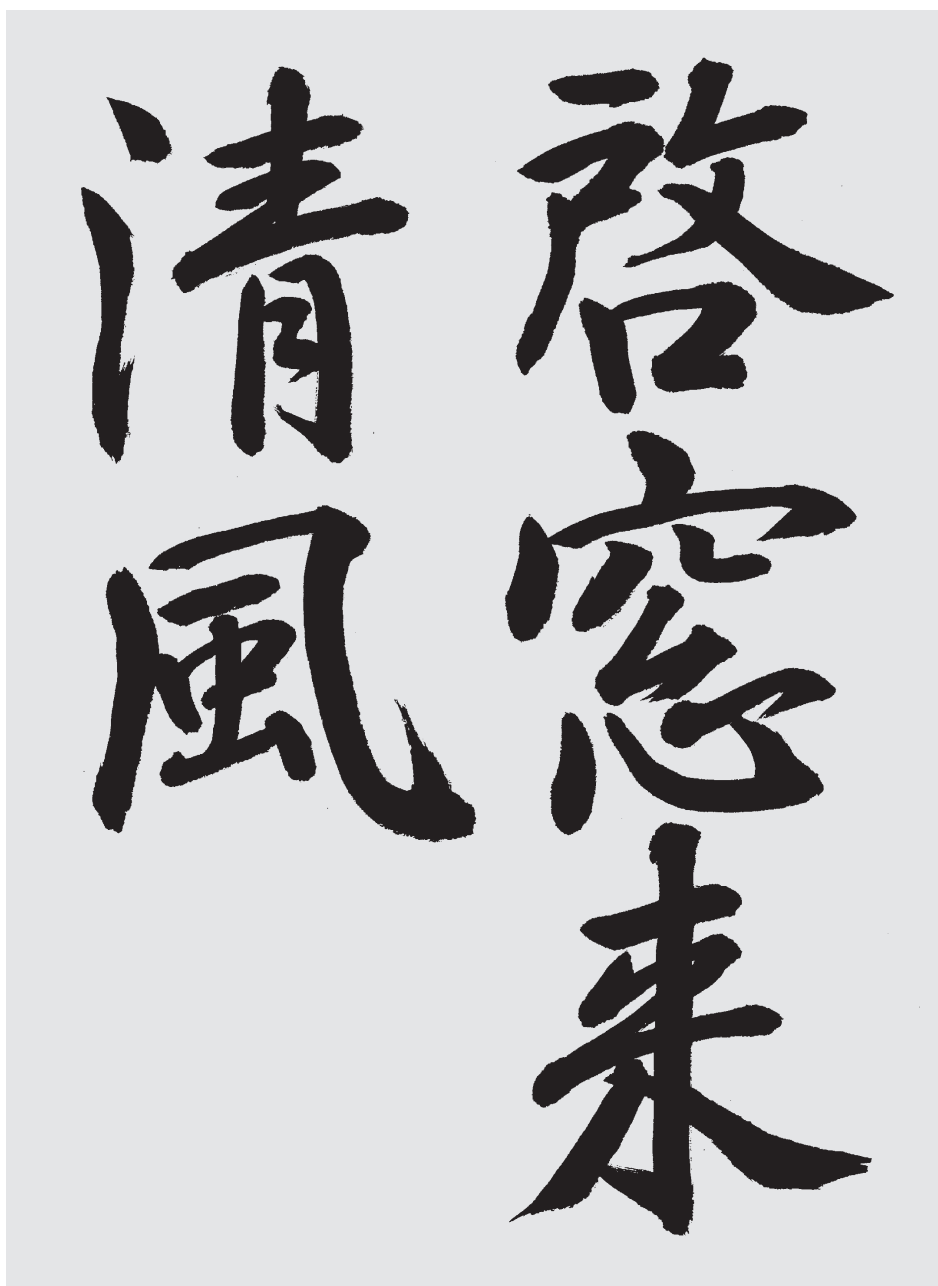
おろすが我が家では今年も

〔条幅解説〕
 今月はスマートに試みました。筆の腹と穂先を
 きかし、細太の変化を見て下さい。「聞、草、都」
 の長い字を入れることにより効果を狙いました。
 縦作品であり、単体でも流れを意識しました。

初出品の方へ
 支部名・会員番号・
 姓名・毛筆漢字成績
 を、作品左下に必ず
 お書き下さい。

〔大意〕もの静かに鳴く鳥は姿を見ずにただごを聞くばかりで名なき野への小草は残らず春誇りげに花咲いている。

新入から1級まで(行書)



清し
水
翠
芳
書

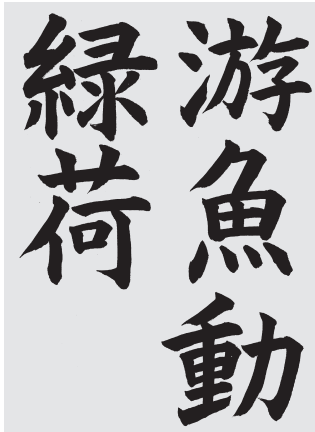
まど ひら
窓を啓けば
せいふうきた
清風来る

〔大意〕窓を押し開けば、夏の清き風が吹き入る。

〔解説〕

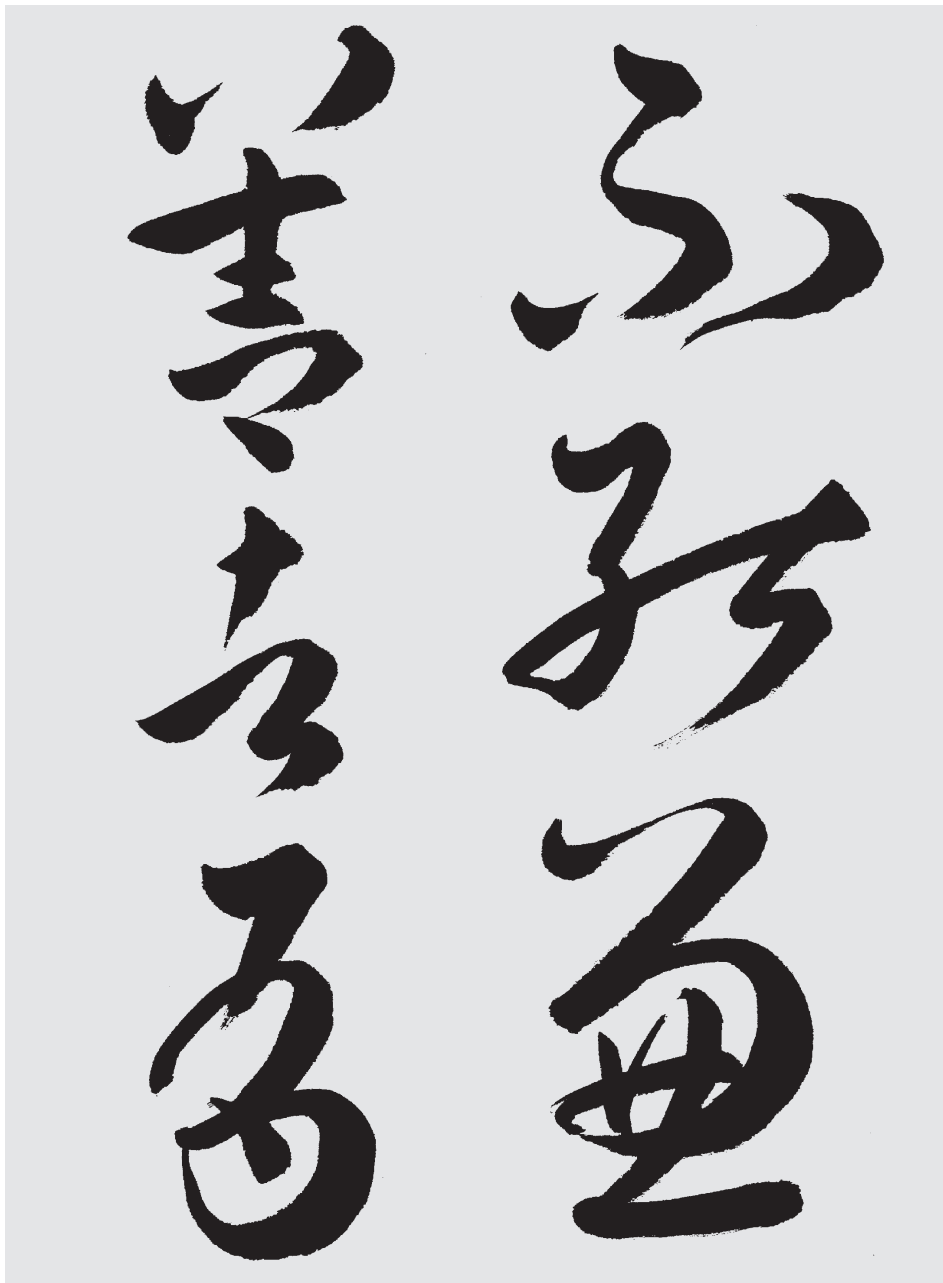


◆7月課題予告(楷書)

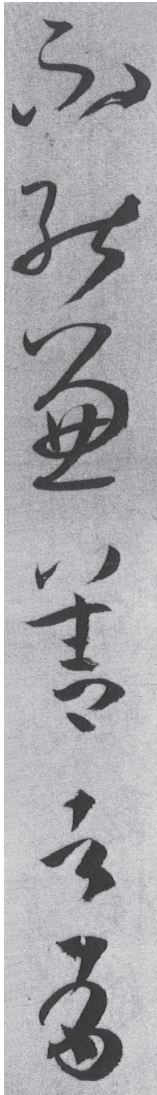


準初段から師範まで

須田一葉臨



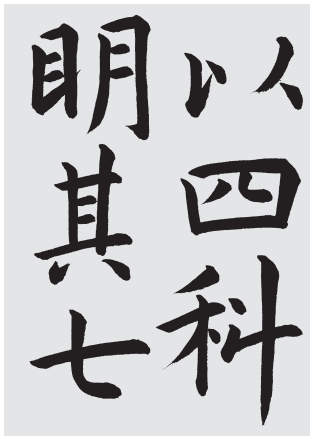
不
能
兼
善
者
有



〔出典〕書譜
〔筆者〕孫過庭（六四八？～七〇三？）
〔読み〕兼かねて善よくする能あたわざる者もの
は、（速おそばざる所）有ありて、
〔解説〕

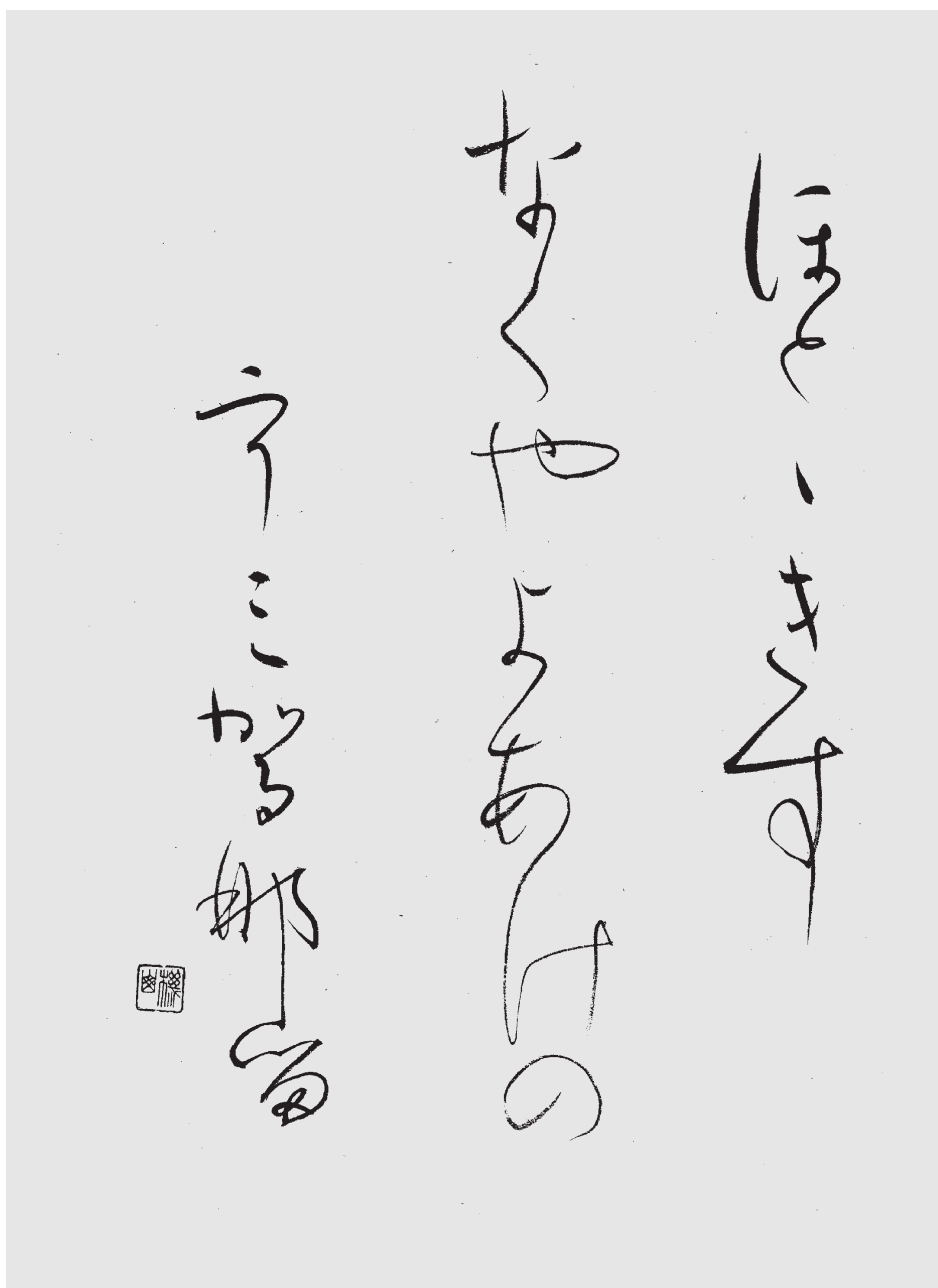


◆7月課題予告
※文献によって字体が異なる場合があります。



新入から1級まで

浅井機山先生書



※検定試験1級コースを兼ねる。

ほとぎす
子規なくや夜明の海がなる

宇三駕那留
加舎白雄

〔句意〕

一声鋭くほととぎすが鳴きすぎた。あとは夜明
けの海鳴りが遠くに響いているだけである、の意。

◆7月課題予告

やみすす
闇涼し草の根を行く水の音

〔解説〕

まず全体をみると、

大きい字、小さい字など、〈大小の字の変化〉を見ていきます。

上5は、「ほ」は大きい。「と」と「小さい字が続く、「き」は中くらい。「す」は大きい。

中7は、大、中、大、中、大、大、大と続きます。

下5は、大、中、大、大、大となり
ます。

それに画数の多い字「那留」と少ない字では重さは随分変わってきます。

さて、1行ずつ見ていきましょう。
「ほととぎす」

「ほ」の第1画は、たっぷり含墨した筆で、ふっくらとした線になるように書きます。それと、「と」（暈字）の点も空中から入って叩くようにして、また空中に帰るとふっくらした点になります。

「なくやよあけの」

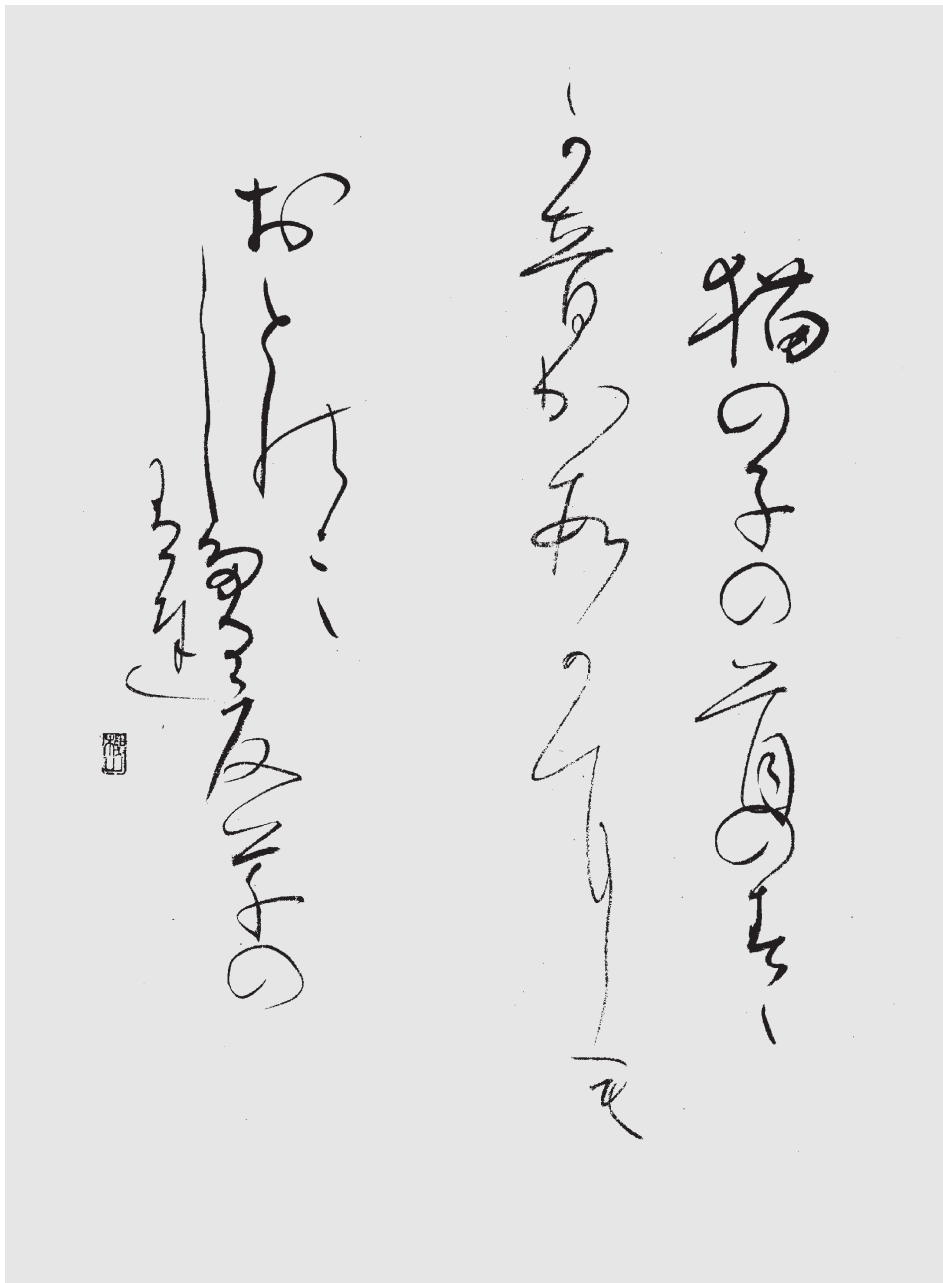
横に広い「や」の字と、「あけ」の上からの流れの〈中心移行連綿〉をうまく書いて1行を安定させます。

「宇三駕那留」

墨継ぎしてゆったり書きます。「宇」は、ヨコ線を力強く、タテ線を動きある線に仕上げます。「那留」は、画数が多く大きく全体の中で、存在感があります。「那」はやや速く、「留」はやや遅くします。

準初段から師範まで

浅井機山先生書



※検定試験三段コース以上を兼ねる。

猫の子の首の鈴が音かすかにも

おと能三 音のみしたる夏草のうち

大隈言道

〔歌意〕

子猫の首につけた鈴が、ちりちりとかすかに音だけして、姿は見えないことだ。高く茂った夏草の中に。

◆7月課題予告

焼岳のけむりのうちに現れて
岩燕飛ぶ青雲の上に

〔解説〕

まず全体をみると、

右2行がゆったりした行間で並び、左に3行を密集させています。

さて、1行ずつ見ていきましょう。

「猫の子の首の春、」

「猫」は最初から大きい字で、第1画はゆっくり書いても後は速めに書いて墨を多く定着しないようにします。「の子の首の春」と、同じ「の」が3回出てきます。字形もよく似ていますから、速度や太さで変化させて、同じ形のリズムが快い状態を作ります。

「可音か数可耳毛」

墨量が少なくなってきた第2行は、慌てず、ゆったり、のびやかな気持ちで書いていく必要があります。かすれて墨がなくなってしまうからと、慌てて速く書くのはダメです。

「おと能三」

墨継ぎします。ゆっくりからだんだん速く書きます。「三」では下余白に溶け込んでいくような気持ちです。

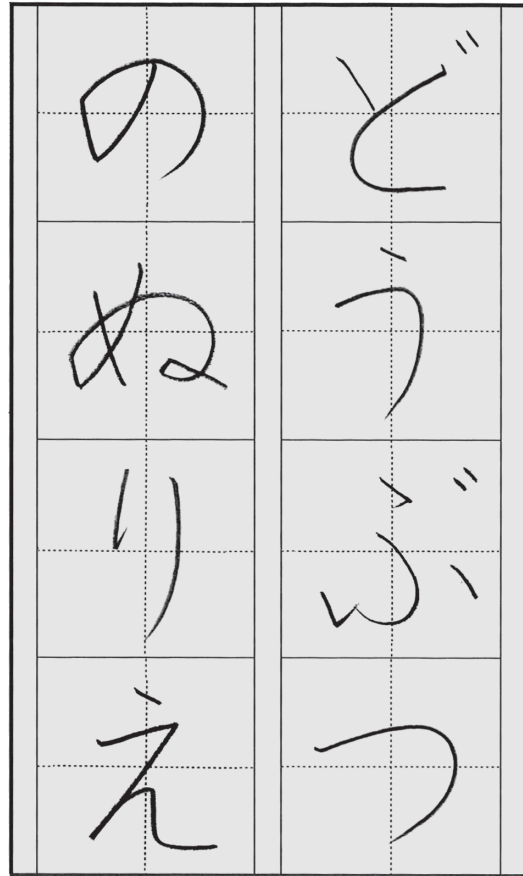
「し多る夏草の」

「し」は長めに、「多」は画数が多くなって3行を引き締める役目です。「夏」の右側から右余白を意識して動きを作っていきます。

「有遅」

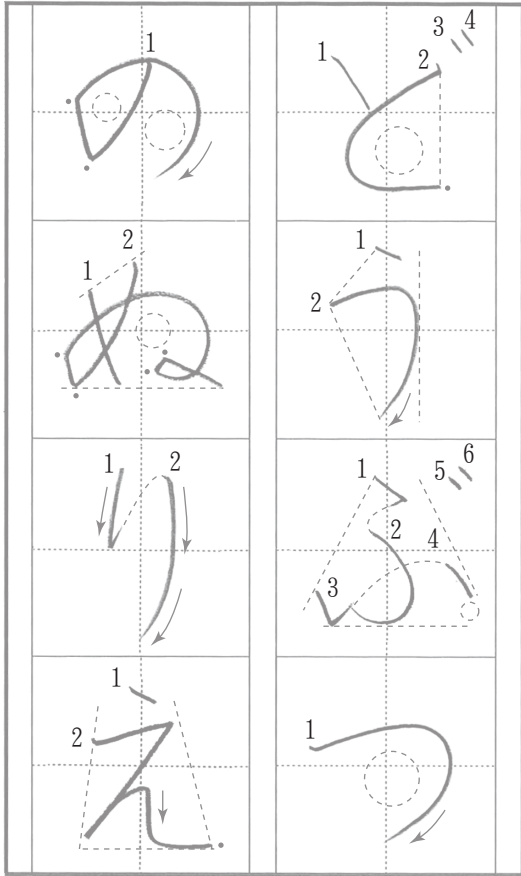
右の「し」のいい位置を選んで書き始め、「多る」の太さに添えます。

よ
う
年



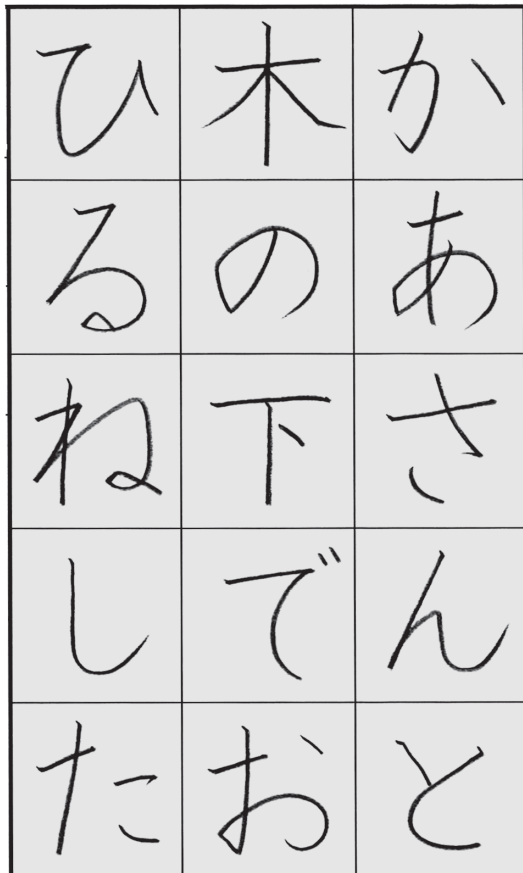
★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかき)

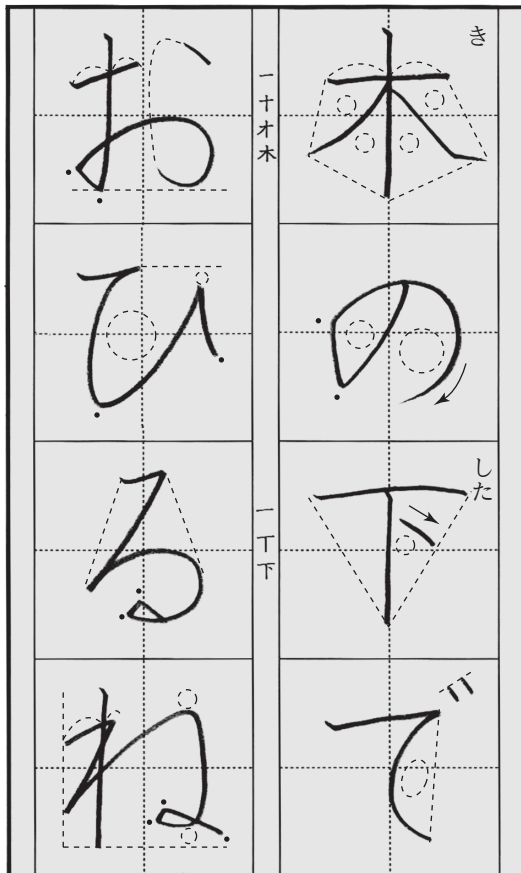
小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準
初
段
以
上

新入〜1級



幼年〜小三年まで
三宅容玉書

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

ま	朝 <small>あさ</small>
さん	早 <small>はや</small>
ん	く
ぼ	お

新入〜1級

に	外	朝
出	へ	早
か	さ	く
け	ん	お
る	ぼ	き

準初段以上

小二年

準初段以上

は	次 <small>つぎ</small>
友 <small>ユウ</small>	の
人 <small>ジン</small>	休 <small>キユウ</small>
と	日 <small>ジツ</small>

新入〜1級

園	友	次
へ	人	の
行	と	休
く	植	日
よ	物	は

準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小四年

の	牧
毛	場
か	で
り	羊

(全員)

新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- * 用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- * 六月締切り分までは、この方法が続けます。
- * ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- * 七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

小五年

箱	機	使
を	能	い
買	的	や
つ	な	す
た	筆	く

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)

使	使
機	機
能	能
的	的

小四年以上 岡嶋桂川書

〈用具 自由 (黒色に限る)〉

所	所	所	所	所	所	所	所	所	所
降	降	降	降	降	降	降	降	降	降
自	自	自	自	自	自	自	自	自	自
宅	宅	宅	宅	宅	宅	宅	宅	宅	宅

解説 (よく見て習いましょう)

す	を	泉
く	降	町
自	り	停
宅	る	留
だ	と	所

小六年

(全員)

種	大	学
目	会	校
決	の	で
め	出	球
る	場	技

中二・三年

(楷書)

切	ま	郵
手	れ	便
を	た	局
購	記	で
入	念	頼

中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 まつ 浦 秋 琴 書

登	か	午	予	お
校	さ	後	ほ	天
す	を	か	う	気
る	持	ら	は	の
	っ	雨		
	て			

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 6月22日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 やす だ すい えん 保 田 翠 苑 書

化	考	鳥	最	始
石	え	類	も	祖
動	ら	の	古	鳥
物	れ	祖	い	は
で	て	先		
す	い	と		
	る			

◎お手本はつけペン使用



◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



小二

早い

さい

え

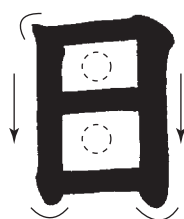
幼年く小二年
酒さか井い智ち仔こ書

る え

早 ひ

小一

ひる



小三〜小五年

水野碧友書

中
二
三
種球

所停

小六
中二・三年

玉樹
小華
書

目技

小六

留田

購

留

球

所

技

手

中
二
購切

入手

第84回 毛筆検定試験受験要項

6月22日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、六月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようお願いいたします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を七月号配本時に同封しますから、所事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和五年六月二十二日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和五年九月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

漢字半紙 …… 一、二〇〇円
細字・かな …… 一、八〇〇円

・活字課題

五段コース以上
会友コース以上

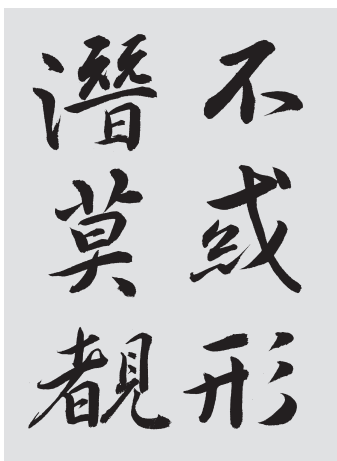
漢字半紙 …… 一、二〇〇円
細字 …… 一、八〇〇円
漢字半紙 …… 一、四〇〇円
細字 …… 一、〇〇〇円
条幅 …… 三、八〇〇円
細字 …… 二、〇〇〇円
教育部 …… 九〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	漢字は下掲課題 かなは月例級位課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	漢字は下掲、かな・細字は月例級位課題	1	1	1	1	4	2,100

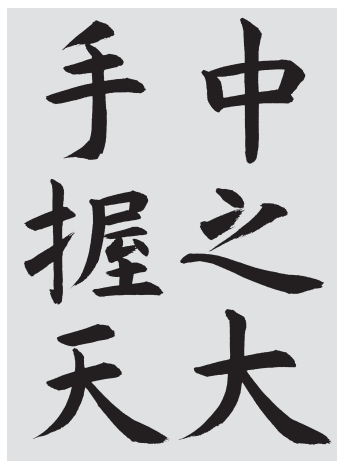
〔三段コース漢字課題〕

《集字聖教序》



神谷葵水先生書

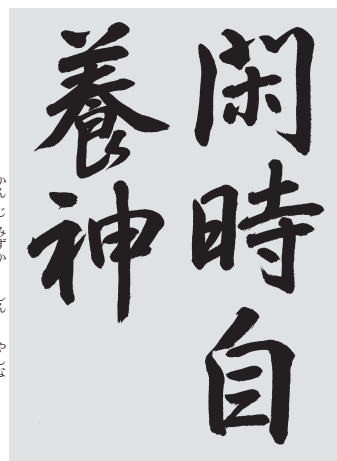
《孔子廟堂碑》



神谷葵水先生書

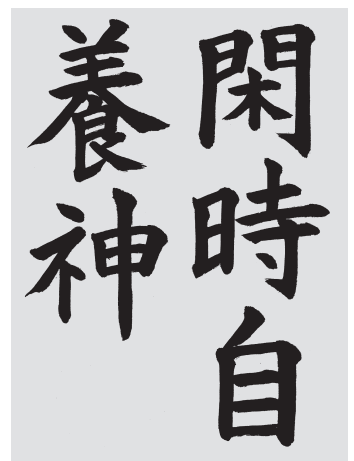
〔1級コース漢字課題〕

《行書》



清水翠芳書

《楷書》



清水翠芳書

コース	課題	受験資格	最高昇位	課題	漢字			かな	細字	条幅	教育部 手本	計	受験料 (新価格)
					楷書	行書	草書						
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教範コース	書範 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教育部	普通コース	—	6月しめきりの月例競書課題								1	420	
	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	6月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)								2	740	

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

■五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり受験有資格者に限ります。
- 二、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取得されていても、受験の際は改めて全科目を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除きます。
- 三、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効になります。

「五段・書範・教範コース課題」

■漢字

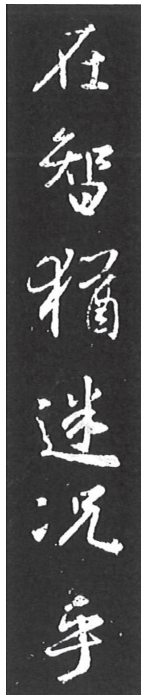
五段コース以上共通(半紙)
図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑



符受命名居域

▼集字聖教序



在智猶迷況乎

▼書譜



革物理常然貴

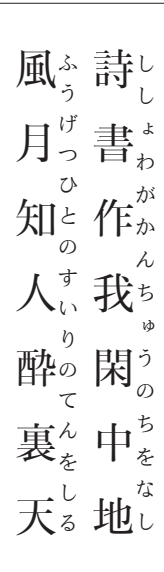
■かな 三段コース以上共通(かな用半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎猫の子の首の鈴が音かすかにも
音のみしたる夏草のうち(大隈言道)

※9頁参照

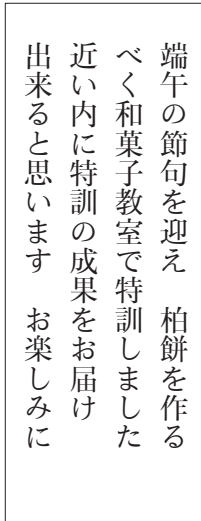
■条幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

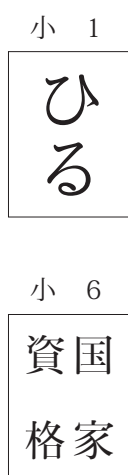


■細字 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてください。



■教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)



※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

■会友コース課題



(行書)

▼六月締切りの自分の学年の月例課題一枚
上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじて出品のこと。